

RE100

地域に活力をもたらす 再生可能エネルギー100%の導入

RE100 は企業が使う電気を 100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアティブです。異常気象が頻発しはじめ、地球温暖化を防止するために 100%再生可能エネルギーにすることはもはや現実的な目標となっています。そして、山形県の豊富な自然は RE100 の実現にとって重要な資源となります。企業はどのように RE100 を実現しようとしているのか、その動向と具体的な方法を見ながら山形全体の 100%再生可能エネルギー化を展望していきます。

2020年2月13日(木) 13:30~

参加費 無料

東北芸術工科大学 本館 201 講義室 (山形市上桜田 3-4-5)

司 会 三浦秀一 東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科 教授

講 師 企業や自治体に求められる自然エネルギーの利用拡大

・・・石田雅也 公益財団法人 自然エネルギー財団 シニアマネージャー

RE100 とは何か？グローバル企業が進める再エネによるローカル経済の進展

・・・高瀬香絵 CDP Worldwide-Japan シニアマネージャー

リコーが取り組む SDGs と RE100

・・・出口裕一 株式会社リコー リコー環境事業開発センター 事業所長

山形県の風力発電の取り組み

・・・加藤聡 加藤総業株式会社 代表取締役社長

地域新電力会社としての取組と課題

・・・矢作浩一 株式会社やまがた新電力 事業推進部部长

主 催 やまがた自然エネルギーネットワーク 後 援 山形県

共 催 RE-Users 地域連携プロジェクト (自然エネルギー財団、CDP Worldwide-Japan 共同運営)

RE100 について

RE100 は、世界で影響力のある企業が、事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする協働イニシアティブです。再生可能エネルギーの活用は企業の排出削減目標の達成につながり、広範囲なエネルギーコスト管理を可能とするため、賢明なビジネス上の判断と言えます。RE100 には、情報技術から自動車製造までフォーチュン・グローバル 500 企業を含む多様な分野から企業が参加し、その売上合計は 4 兆 5000 億米ドルを超えています。企業が結集することで、政策立案者および投資家に対してエネルギー移行を加速させるためのシグナルを送ることを意図しています。RE100 は The Climate Group が CDP とのパートナーシップのもとで主催されています。また、We Mean Business 連合の一部としても運営されており、日本では日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP) が地域パートナーとして、日本企業の参加を支援しています。

現在 RE100 には Apple、Bank of America、Google、Microsoft、IKEA、Johnson & Johnson、Nike、Nestle、Starbucks、Zurich など世界 212 の企業が参加しており、日本では、イオン、旭化成ホームズ、アスクル、コープさっぽろ、大東建託、大和ハウス工業、電通、富士フィルム、フジクラ、富士通、芙蓉総合リース、城南信用金庫、コニカミノルタ、リクシル、丸井、パナソニック、リコー、積水ハウス、ソニー、高島屋、戸田建設、東急、東急不動産、ワタミなどが参加しています。

■ シンポジウムの参加申込方法 次の3パターンあります。いずれかお選びください。

① 「メール」からの参加申込み

メールの件名に【RE100 セミナー2/13 申込み】、本文に①氏名・所属、②連絡先（携帯番号）を記入して、事務局メールアドレス： info@yamaene.net までお申込みください。

② 「参加申込フォーム」からの参加申込み

次の参加申込用フォームから申込みください。

参加申込フォーム URL： <https://forms.gle/J5KdRfzdjXePw1oE9> QRコード →



③ 「FAX」からの申込み

本用紙の下記欄に記入して FAX でお送りください。 > **参加申込 FAX 「0237-48-2298」**

氏名	所属先	電話番号



| 事務局 | やまがた自然エネルギーネットワーク

TEL : 050-3479-2014

FAX : 0237-48-2298

メール : info@yamaene.net

